

主体的に業務に取り組むためのジョブクラフティング -自発性と意欲を高める-

対象	若手社員(入社2～5年目クラス)		ねらい	・今の仕事の中で、自分なりに価値を見出し、自分で意欲を高めること ・仕事の自発的な工夫を促進する ・対人関係をよりよくするためのヒントを学ぶ	
ありがちな課題	・意欲が不安定になりやすい ・仕事のおもしろさを理解できていない ・仕事の工夫が少なく、自発性が低い ・対人関係でうまくいかないときに、硬直的になり自分からやり方を変えようとせずに悩む				
開始	項目	内容	講義	演習	概要
10:00	オリエンテーション	研修のねらい	○		三人のレンガ職人の逸話から、自分の仕事の捉え方によって自分の意欲が変わることを理解する。 その上で、三人目のレンガ職人になったつもりで自分の仕事を再定義し、意欲が高まる表現に変える。
10:10	自分の仕事の意義や価値を考えよう	自分の仕事とは		○	
		三人のレンガ職人のお話から考える	○	○	
		自分の仕事を再定義する		○	
11:00	ジョブクラフティングとは	ジョブクラフティングの定義と効果	○		ジョブクラフティングは自分で仕事を工夫しながら、自分らしい仕事のやり方を探求すること。 仕事の捉え方(定義)、周囲との関係、仕事のやり方の三つを工夫することで、手作りのように自分なりに自分を活かせる仕事に変えていく。
		3つのジョブクラフティング	○		
		仕事の意義を捉え直す	○		
		周りの人への工夫を考える	○	○	
		仕事のやり方の工夫を考える	○	○	
		やりたいことと今の仕事が一致しないときに	○	○	
13:00	仕事とプライベートから得られる幸福を大きくしよう	動機づけの心理学	○		幸福度を高めると意欲や生産性が高まる。 幸福とは何か、仕事やプライベートの中でどのように幸福度を高めていくかを理解した上で、自己チェックをして幸福度を高めるヒントをつかむ。
		幸福度が生産性を高める	○		
		幸福度を高めるために	○		
		自己チェックをしてみよう		○	
14:30	自分を知り、相手に合わせた関わり方をしよう	自己分析から自分の個性を理解しよう		○	仕事の中での悩みは人間関係であることが多い。そこで、自分の個性を理解し、他者との関わり方を修正してよりよい関係を築くためのヒントを学ぶ。
		他者との関わりをよりよくするために	○	○	
		「愚者の演出」のすすめ	○		
16:40	まとめ	明日からの取組み	○	○	明日からの具体的なアクションを考え、宣言する。
17:00	終了				